

クジラの親子、この日は当たりだったようです。（ちなみに、カメラはズームしていません。）



海派も山派も楽しめる任地エウア島

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

今号は、私の任地エウア島での生活について紹介させていただきます。エウア島は首都ヌクアロファの南東に位置し、飛行機で 7 分、船で 2 時間強とトンガの中では最も首都に近い島であり、島東部は森林に覆われる自然豊かな島です。15 の村からなる島の人口は約 5,000 人とわれ、病院や空港等の主要施設は、基本島に 1 軒ずつと非常にコンパクト。生活物資は船で輸送されるため、

サイクロンや強風で船がストップすれば、商品は品薄となります。よって、日々のフードストックは欠かせません。飲み水は、雨水タンクから汲み、沸騰させて確保します。水シャワーが基本で、寒くなったら鍋で湯を沸かし、桶に溜め少しずつ身体に流します。蚊帳で防蚊対策、



夕焼けが綺麗で、満点の星空も独り占めできます。

十匹弱のヤモリと同じ屋根の下で暮らし、今やゴキブリ退治もお手の物です。

島の人々はとてもフレンドリーです。知らぬ人でもすれ違えば挨拶。長年に亘る協力隊派遣と中等学校には日本語教育の教科もあり、日本語で挨拶されることもあります。日々エウアの人々の温かさに支えられながら生活しています。

以下は自称エウア観光大使を名乗らせていただいて、エウア島の見所をご紹介します。まずはトンガの海の醍醐味でもあるホエールスイム。エウア島でも楽しめます。ベストシーズンは8月末から9月とされ、昨年、私も一度参加しました。エンジンボートを数十分沖合に走らせ、クジラの親子と対面。最初はクジラとの距離感が掴めず、あの大きな尾で蹴られたらどうしよう、ピノキオのように飲み込まれたらどうしよう、そんな恐怖を感じました。でも、それ以上に間近で見るクジラの迫りに終始圧倒され、貴重な体験となりました。

島の最北、南、東部それぞれには太平洋を一望できる展望スポットがあります。樹齢数百年にもなる木々や自然が生み出した洞窟を目指すハイキング、高低差のある地形を利用したクライミングも楽しめます。海派も山派もどちらでも楽しめるエウア島。魅力溢れるエウア、皆様のお越しをお待ちしております。



島の最南端。保護柵もなく、下を覗けば、ちょっとヒヤヒヤ。太平洋を一望できるお気に入りの場所です。